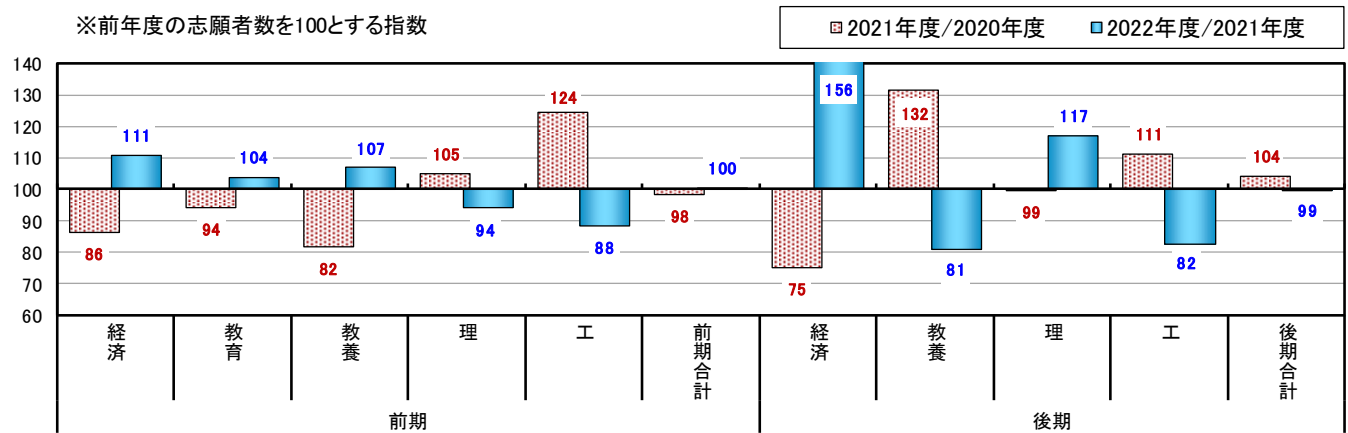


埼玉大：大学全体では前期、後期ともに志願者数は前年度並 前期：+10 人 後期：-18 人



主な入試変更点

選抜方法：教育(学校教育教員養成/小学校-実技-体育)、(学校教育教員養成/中学校-言語文化-国語)、(学校教育教員養成/中学校-身体文化-保健体育)…総合点が同点の場合は同順位とする
→面の満点(50点)の20%(10点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格となる

募集人員：経済<一般選抜枠>…<前>210人→195人

個別試験：教育(学校教育教員養成/小学校-実技-体育)、(学校教育教員養成/中学校-身体文化-保健体育)<前>…実→面+実教育(学校教育教員養成/中学校-言語文化-国語)<前>…国→国+面

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は10人(100)の微増で、志願者数は3年連続で2,900人前後が継続。後期は18人(99)の微減で、志願者数は2年連続で約3,000人。前期、後期ともに学部別ではいずれも前年度と逆の増減と反動が見られた。

<前期日程>

- 経済(111)**は、2年連続減少の反動で増加。方式別では、<国際プログラム枠>(224)は、前年度は海外語学研修や交換留学がカリキュラムに含まれることからコロナ禍の影響を強く受けて、減少率40%以上の大幅減少だったが、その反動で倍増以上。一方で、<一般選抜枠>(97)はやや減少で3年連続減少。募集人員が210人から195人に減少(募集人員の前年度対比指数93)したため、志願倍率は逆に3.0倍→3.1倍にアップした。
- 教育(104)**は、2年連続減少の反動は小さくやや増加に留まった。募集単位別では、18募集単位中13募集単位が増加。また、募集人員が少ない募集単位が多いことから増減が極端になりやすく、12募集単位で20%以上の増減があった。特に、(学校教育教員養成/中学校-生活創造-技術)(725)は前年度志願倍率が1倍を下回った反動で約7.3倍の激増。志願倍率は0.8倍→4.8倍と大幅アップ。(学校教育教員養成/中学校-身体文化-保健体育)(367)は前年度激減の反動で約3.7倍の激増。2019年度以降前年度の反動による大幅な増減が継続。(学校教育教員養成/中学校-芸術-美術)(200)は倍増。一方で、(学校教育教員養成/小学校-理系)(60)、(学校教育教員養成/乳幼児教育)(66)はいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 教養(107)**は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まり、志願者数は2年連続で300人を下回った。
- 理(94)**は、4年連続増加の反動は小さくやや減少。学科別では、5学科中2学科が増加。(物理)(114)は増加で4年連続増加。一方で、(基礎化)(80)は大幅減少、(数)(89)は減少。いずれも前年度の反動による減少。
- 工(88)**は、前年度大幅増加の反動で減少。志願者数は700人を下回った。学科別では、(環境社会デザイン)(125)を除く4学科で減少。特に、(電気電子物理工)(56)は前年度約2.8倍増の反動で大幅減少。2018年度の学科改組以降は反動による大幅な増減が継続。(情報工)(94)はやや減少で、2年連続減少。

<後期日程>

- 経済(156)**は、前年度大幅減少の反動で50%以上の大幅増加で、4年ぶりに志願者数は500人を上回った。
- 教養(81)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2018年度以降前年度の反動による大幅な増減が継続。
- 理(117)**は、大幅増加。学科別では、5学科中4学科が増加。特に、(分子生物)(147)は2年連続大幅増加。(物理)(116)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(生体制御)(98)は微減だが3年連続減少。
- 工(82)**は、前年度増加の反動で大幅減少。志願者数は1,300人を下回った。学科別では、5学科中3学科が減少。特に、(電気電子物理工)(39)は前年度約2.6倍の激増の反動で激減。(情報工)(84)は大幅減少で、2年連続減少。一方で、(応用化)(113)は増加、(環境社会デザイン)(106)はやや増加で2年連続増加。